

1月給食だより



12月の食材の主な産地について

令和7年12月22日現在

食品名	産地名	食品名	産地名
にんじん	茨城	もやし	栃木
しめじ	長野	レモン	愛媛
まいたけ	新潟	ピーマン	茨城
長ねぎ	青森	かぶ	千葉
しょうが	高知	だいこん	新潟
ごぼう	青森	さつまいも	千葉
はくさい	茨城	さといも	埼玉
こまつな	西東京市・茨城	ブロッコリー	北海道
玉ねぎ	北海道	みかん	熊本など
じゃがいも	北海道	りんご	青森
きゅうり	埼玉	はれひめ	愛媛・佐賀・愛知
にんにく	青森	いちご	栃木
キャベツ	東京	ぶどう	長野
しいたけ	西東京市	さけ	チリ
なす	高知	さば	ノルウェー・アイスランド
にら	茨城	さわら	韓国
チンゲンサイ	茨城	ぎんだら	アメリカ
ごぼう	青森	ぶた肉	茨城など
ほうれん草	九州	とり肉	鹿児島など
えのき	長野	米・もち米	新潟など

《1月のこんだてより》

- ・ 9日 しらたまじる粉…1月11日(日)は鏡開きです。給食室では、一足先におしる粉を作ります。
- ・ 26日 おこげのスープ…油で揚げたおこげをスープに入れていただきます。

全国学校給食週間



約60年前の給食です。脱脂粉乳から徐々に牛乳に変わりました。食パンとマーガリンが定番で食器はアルマイトです。



1月24日～30日は、全国学校給食週間です。

日本の学校給食は、明治22年、山形県鶴岡市の市立忠愛小学校で提供されたのが始まりとされています。その後、各地で広まったものの、戦争による食料不足で中断されてしまいました。

戦後、子どもたちの栄養不足を改善するため、昭和21年にアメリカの支援団体ララ(アジア救済公認団体)から物資の寄贈を受けて、翌年1月から学校給食が再開されることになりました。昭和21年12月24日に、東京都内の小学校で給食物資の贈呈式が行われたことから、この日を「学校給食感謝の日」としましたが、昭和25年度からは、冬季休業と重ならない1月24日～30日までの1週間を「全国学校給食週間」とすることが定められました。

給食のメニューもその当時人気があった「くじらの竜田あげ」を提供します。

《東京牛乳》

多摩地区の酪農家さんから集乳した生乳で、製造工場も東京都です。

1月23日にくじらの竜田揚げといっしょにいただきます。

《鏡開き》

鏡もちを小さく割っておしる粉などにし、無病息災を願う行事です。もちを小さくするのに、包丁など刃物を使うのは縁起が悪いとされ、木づちなどで割ります。

小豆は、昔から「魔除け」や「邪気払い」の意味があるとされています。

給食でも9日にしらたまでおしる粉を作ります。

《1月の地場農産物》

田倉農園さんから小松菜。高田農園さんからしいたけが届く予定です。

